

# 《 自 己 評 価 表 》

(評価例) 4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない

令和7年度

評価項目		内 容	全体	課題と今後の取組
① 保育の 計画性	園の理念・ 保育指針・ 保育課程	●園の保育目標を理解している	3.5	<b>&lt;課題&gt;</b> <b>●計画に基づいた評価方法と計画に関することを学ぶ</b> <b>&lt;今後の取組&gt;</b> 保育士の間で差が出ないよう、保育指針についての共通理解を深める場を作り、保育に活かしていく。
		●保育指針を読み、理解している	3.4	
		●指導計画は、保育指針・保育課程そして幼児の実態に即して作成し、周囲の状況や変化に対応できるものとしている	3.3	
	環境構成	●指導計画に基づいた安全で安心感、清潔感のある環境を構成する	3.4	
		●幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や遊具に配慮し、必要な数量を用意する。	3.3	
		●幼児の発達を見通し、より豊かな活動が展開できるよう環境を再構成する	4.1	
		●積極的に屋外に出かけ自然に触れたり、季節の変化に応じた環境を構成したりする	3.8	
	評価・反省	●自己の保育についての評価・反省をさまざまな観点から行う	3.2	
		●自分の保育を評価・反省することで、園全体の保育に活かしている	3	
② 保 育 の あ り 方 幼 児 の 対 応	健康・安全	●日頃から園内の危険箇所配慮する	3.7	<b>&lt;今後の取組&gt;</b> 保育者全員が安全について今まで以上に配慮するよう努め、個々の園児の思いを受け止めながら保育に当たる。園児一人一人の思いをより一層大事にし、さらに深めたり広げたりできるように導く。園児情報の共有を心がける
		●毎日の園児の健康視診を大切にする	4	
		●事故や怪我が発生した場合は迅速に適切な処置を行う	4.1	
	幼児理解	●幼児一人ひとりをよく観察し、幼児の思いを受け止める	3.4	
		●幼児同士のかかわりの姿から、個々の成長発達をふまえ、見通しをもって理解する	3.4	
	指 導	●幼児の思いや考えに共感し、受け入れる	3.8	
		●規範意識・道徳性を培ううえで、モデルとなるよう心がける	3.6	
		●幼児の年齢・発達に応じた指導や援助をする	3.3	
③ 保 育 者 の 資 質・ 義 務 能 力	姿 勢 能 力 義 務 組 織	●幼児の保育教育についてクラスでの意見交換を密にし、共通理解している	3.2	<b>&lt;今後の取組&gt;</b> 工夫しながら意思疎通を図る。自分の役割に責任を持ち、果たすだけでなく、他への援助の姿勢を持って臨む。お互いさまの気持ちを持って取り組みむ。
		●職務上の情報等の秘密を守秘する。	4	
		●保育者としての自覚をもち、社会人の常識をわきまえ、行動する。	4.1	
		●教職員組織の協調性を大切にし、チームとしての自覚をもつ	3.6	
		●意見交換を行い、相互理解を深めたうえで組織内の問題の共有化に努める	3.1	
		●担当や役割義務など、課せられた仕事は確実に行う	3.1	
		●担当や決められた役割以外でも、状況に応じて他の職員の援助を行う	3.4	

(評価例) 4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない

評価項目		内 容	全体	課題と今後の取組
④ 保 護 者 へ の 対 応	対話・交流 クレーム対応	●保護者に幼児の様子を的確に伝える	3.7	＜今後の取組＞ 管理職へのホウレンソウを 確実にを行い、保護者への対 応をこまやかにできるように 職員間の情報共有も心がけ る。
		●保護者からの相談や要望をよく聞くように心がける	3.5	
		●保護者との対応には公正さを信条とし、保育時間外でも誇りと自覚をもった言動・行 動を心がける	3.7	
		●電話での対応は、わかりやすく真摯な対応に努める	3.5	
		●保護者からの話を確実に園長・副園長などに報告、連絡、相談をする。	4.1	
⑤ 地 域・自 然・社会 との かか わり	地域・自然・ 人とのかかわり	●地域の自然や施設、行事等について理解し、積極的に利用する(公園等)	2.1	＜今後の取組＞ 地域との交流、つながりをも つ機会を捉えられるよう、 様々な活動を今後も継続し ていく。
		●地域の人々とあいさつや会話を交わし、親睦に心がける	3.1	
	幼保小の連携	●10の姿などにかかわり、小学校の教育内容について理解するよう努める	3.1	
		●地域の保育園や小学校に関心をもち、できる限り交流を図る	3.1	
	子育て支援 地域への開放	●子育て支援の役割や内容を理解する	3.1	
⑥ 研 修 と 研 究	研修・研究への 意欲・態度	●研修会や研究会には自己課題をもって積極的に参加するよう努める	3.6	＜課題＞ ●計画に基づいた評価方法 と計画に関することを学ぶ ●幼児の発達を見通した環 境構成や教材に関すること を学ぶ ●保護者への対応に関する ことを学ぶ ●組織内の協力・連携に関 することを学ぶ ●幼保小連携の必要性や 具体的方策について学ぶ ●社会情勢について関心を もつ ＜今後の取組＞ 上記について研鑽を積む。
		●自分の保育について自己課題をもって取り組む	3.6	
		●自分の保育のあり方について振り返り自己解決に努めるとともに、悩んだときは他の 保育者や副園長、園長に相談する	4	
	保育者としての 専門性に関す る研修・研究	●幼児の発達に必要な知識を学び、現場に生かすように努める	3.5	
		●記録の取り方、考察の仕方に関することを学ぶ	3.8	
		●保育課程や指導計画の理解と作成に関することを学ぶ	3.5	
		●実践に基づいた評価方法と計画に関することを学ぶ	3.2	
		●幼児の発達を見通した環境構成や教材に関することを学ぶ	3.6	
		●保護者への対応に関することを学ぶ	3.5	
		●保育指針に関することを学ぶ	3.2	
		●組織内の協力・連携に関することを学ぶ	3.0	
	今日的課題に 関する研修・研 究	●アレルギー、成長の遅れ、問題のある幼児について理解する	3.5	
		●音楽、絵画、体操指導に関することを学ぶ	3.1	
		●幼保小連携の必要性や具体的方策について学ぶ	3.1	
		●子どもたちの安心・安全に関する、危機管理の必要性と対応について学ぶ	3.1	
		●社会情勢について関心をもち	3.1	